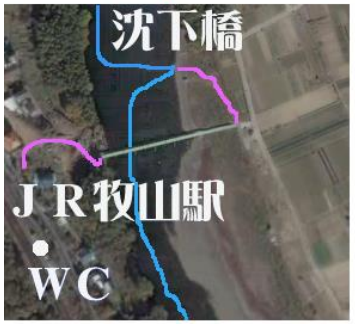
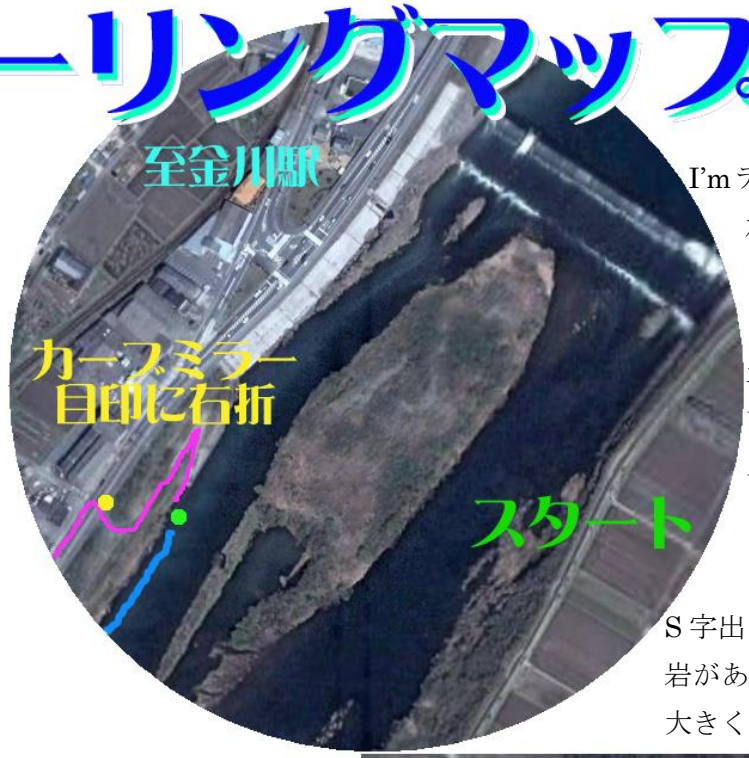
旭川ツーリングマップ



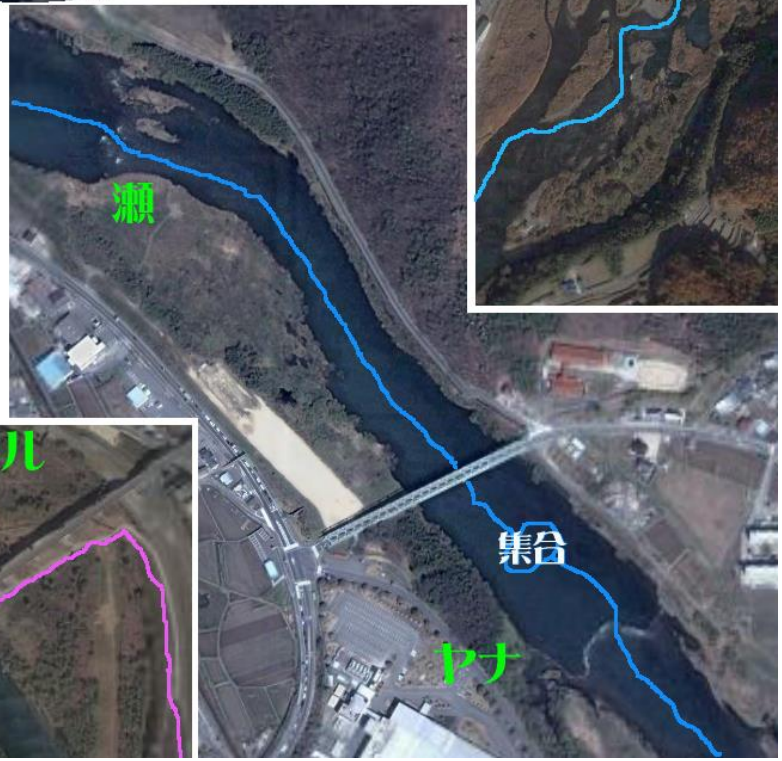
駅まで 4-5 分歩くと
トイレがある。

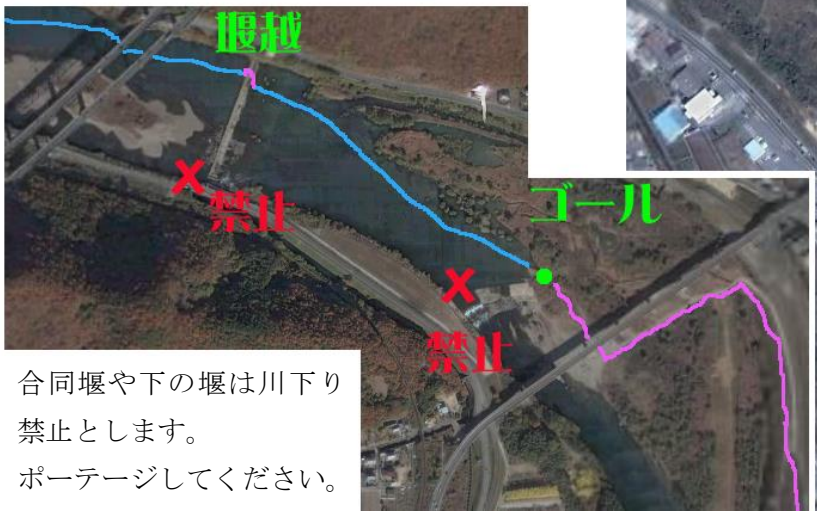


I'm テンマヤの信号交差点を過ぎ、
左手「みつ鉄工」の看板の
右手カーブミラー目印の
ガードレール隙間の道から
土手に入り、北へ行き止まり
まで進んだところへ川に降り
スロープがある。

S 字出口に
岩がある。
大きく廻る。

クラス I の瀬がある。
ストレートの瀬なので
センターを下る。
ヤナは壊れている箇所
を通る。





合同堰や下の堰は川下り
禁止とします。
ポーテージしてください。

牧山を過ぎると新大原橋下左岸
までゴール適地がない。
牧山ゴールが定番です。
夏はヒマワリ畑が人気です。

スタート地点はJR津山線金川駅近く、金川の堰の下、右岸に何箇所か整備されたスタート地点がある。水文水質観測所情報牧山観測所のリアルタイム水位が60cm以下の渇水時に浅瀬が通れない場合は左岸から出たこともある。
スタートして左岸寄りの流れをしばらく進むと浅瀬を越えて右岸寄りの流れと合流します。水が少ない場合はコースを選んで下ります。
合流後、水が少なくコース取りが困難な場合は左岸ぎりぎりを通ります。
右岸に巨岩が見え、川が左に曲がるところで水が少ない場合はそのまま進むと浅瀬にかかるので、右岸ぎりぎりに進みます。
流れがゆるやかになり漕ぎすすむと最初の瀬です。瀬の中やや右の波の下には岩があるので、真ん中やや左を下ります。
橋脚跡を過ぎると葛城橋です。
JR津山線野々口駅近く、葛城橋右岸にも駐車スペースがありスタート適地です。
葛城橋を過ぎるとヤナの残骸があります。大きく壊れて通りやすくなっています。
左岸寄りの開口部を抜けていきますが、右から左に弱く流れているので、右から開口部に進みます。
ヤナの下では鉄筋の残骸に注意です。右岸寄りに多いようです。
ヤナが壊れる前は通行難だったため、ヤナの下からスタートすることもありましたが、2018年にヤナが壊れてからは乗降場所にならなくなりました。
ゆるやかな流れを漕ぎ進むとS字の入口に着きます。かつては多くの木々が繁茂していた中州は整地されています。右岸寄りに進む場合は早めに右端に進みます。左岸寄りに進むとS字の手前で右岸寄りの流れと合流します。水量が少ないときは波が立ちます。
S字は枝流に流されないよう先を見て丁寧に進みます。先に岩が見えても川は広いので当たることがないよう漕ぎ進みます。
S字を抜けると田土の赤岩が見えてきます。
ここからは左岸の竹林に注意して下ります。倒れこむ竹に引っかかった場合は後ろ向きになって背中とヘルメットで逃げてください。
引っかからないよう流れを読んで進むことが大事です。
ゴールはJR津山線牧山駅近くの沈下橋です。
大原橋から野々口までの右岸の道路は約3年の通行止めが継続中なので左岸の狭い道を行くしかない。左岸に駐車スペースや乗降場所は殆どないので、当分の間ゴールは沈下橋になります。
右岸の道路が開通すると駐車スペースのあるところがゴールになります。牧山クラインガルテンにトイレがあるので近くでゴールすると便利です。
牧山を過ぎると新大原橋左岸までゴール適地がありません。合同堰とその下の堰は切石だらけで、沈すると怪我する可能性が高いことから下りません。左岸寄りをポーテージしますが、下の堰から川原まで雑草が茂って歩きにくいことがあり、団体で下るときは事前に草刈して道を確保する必要があります。
大原橋の下の堰のポーテージは歩きにくいところを長く歩きます。
中原橋の下は右岸沿いに進み六丁樋堰から本流に戻り、遡って小島の中を抜け左岸に出て、明星堰をポーテージします。堰下浅瀬の横が百間川取水口一の荒手です。2018年豪雨直前に改修して1m下げたことで岡山市出石町辺りが救われたことは知られていません。
クラレ取水堰は水量によりますが下れます。後楽園を過ぎると県庁前に新堰があります。農繁期は閉まっているのでポーテージが必要です。
新堰下は海まで続く流れで潮汐の影響で水位が上下します。

・スタート地点

＜金川グルメ情報＞

金川の町の北、宇甘川を渡ったところに、酒蔵をリニューアルした伝統的な建造物「かながわ SAKAGURA(酒蔵)」があり、一階に、お刺身・天ぷら・御津産そば粉を使用した蕎麦などが楽しめるレストラン「美津葉」があります。駐車場も広く風情ある建物で判りやすい店です。ここも昼食におすすめですが、ここから東の岡山御津高校の前に「美津葉本店」があります。国道から離れているので判りにくい場所ですが、数箇所駐車場があり、色々なメニューが楽しめ地元で人気の店です。

＜堰＞

堰はポーテージするところで下るのはＮＧです。前頁にも「合同堰や下の堰は川下り禁止とします。ポーテージしてください。」と書いています。堰は人工構造物で堰の周りは切石だらけです。不用意にロールするとヘルメットが割れ切り傷を負います。チャレンジする場合は同行者に迷惑がかからないよう単独行で人目につかないように行ってください。

金川の堰は左岸に抜け道があります。堰の上に歩道橋があり、渡って確認することは可能です。この歩道橋ができる前は渡し舟がありました。

合同堰は流れが曲がっています。落差が大きいので思ったより大回りになりますが、難しい瀬ではありません。とはいえ皆で下ると何人か沈します。すぐ脱艇すれば良いのですが、覚えたてのロールをしてしまうと切石に当たって怪我してしまうので「川下り禁止」です。チャレンジする場合は「ロールしない」ことが条件です。

合同堰下の堰は石が邪魔します。右岸沿いにルートがあります。カナディアンなら立って確認して突っ込めます。水流が岩を避けるので、意外と抜けられます。

大原橋下の堰も同様です。ここは流れに鉄筋を打って蟹網が仕掛けられていることがあるので右岸からスカウト必要です。

堰を突っ切れば旭川ダムの下から児島湾までダウンリバーできそうですが、最後の課題は三野の堰です。大変危険な堰でお地蔵様が何体も設置されていました。2018 年西日本豪雨で崩れた堰は改修されて姿を変えています。改修後の堰下の切石の配置は未確認です。

初めて川下りされる方を案内する場合は「S字」の下、「田土の赤岩」付近からスタートします。

ここで乗り方、漕ぎ方を説明して練習します。対岸に渡り、方向転換して帰り、上流に向かい真っ直ぐ進み、左右に曲がれるようになったら下流に向かいます。

流れを読み、倒れ掛かる竹を避けるルートを選び景色を楽しみます。

鉄道が整備されるまで交通手段だった高瀬舟の川は、堰、ダムで分断され、楽に下れない川になりました。

初心者スタート地点から牧山まで、昔の高瀬舟に乗った人が見た景色を想像することができます。50 年前は、沈下橋はなく、対岸とは渡し舟がありました。水は澄んで調理に使えました。

今は巨大な赤岩は堤防道路に隠れ、道から小さく見えます。

＜飛び地＞

牧山沈下橋はJR津山線牧山駅がある右岸の下牧と左岸の牟佐大久保を結んでいます。左岸は合同堰の下まで牟佐です。新大原橋辺りから玉柏になります。右岸は家がなくなるまで下牧でその下から玉柏になります。大原橋は右岸も左岸も玉柏で、牟佐と玉柏の境は旭川でありません。

中原橋も同様、右岸も左岸も北区で、北区と中区の境は旭川ではありません。元々は川が境だったはずです。川は流路を変えて河口に土砂を運びました。

＜周辺グルメ＞

旭川左岸の玉柏には"健康ミネラル農園　農家大作戦"の難波さんの野菜などが、火木土に直売されています。

牟佐には桃太郎温泉があります。

牟佐から県道美作線を北上して赤磐市に入ると左手にトンカツ屋があります。何を作らせても絶品のマスターがカレーを作っています。おすすめです。早いときには 11:30 に売り切れるので、そのときはスグ先にうどん香麦があります。

＜古墳＞

牟佐には大塚古墳があります。道から外れて判りにくい場所ですが、うどんの吉田の駐車場の隣です。岡山三大巨石古墳の一つです。岡山は古墳が多く、うどん小麦の先にある両宮山古墳は全国 40 位の巨大古墳です。古墳時代には岡山平野は無く海が入り込んでいました。

古墳は目立つところに築かれたので川から見えるはずですが、まったく見えません。葺き石が埋まり、木々が生い茂り、山の一部になっています。

＜吉備土手下麦酒＞

三野の堰の下、クラレの堰の上の右岸に地ビールの吉備土手下麦酒普段呑み場があります。

おいしい地ビールがいただけます。